

裁判傍聴フィールドワーク 2024.7.4



選択授業「政治経済」と「もうひとつの現代社会」
選択者の希望者対象による裁判傍聴に 44 名の生徒
(昨年 17 名、今年は多かった！) が参加しました。

淀屋橋駅下車後、新札発行で話題となっている日
本銀行大阪支店や中央公会堂(写真)の辺りを紹介・
散策し、裁判所に行ってきました。

裁判傍聴は班ごとに分かれ、行いました。裁判員
裁判を見学できた班もありました。

とても暑い一日でしたが、教室では体験できない
「学び」があったと思います。

社会科 西口 直樹

生徒の感想(抜粋)

ドラマとかで見るのとは違った。見た目は一緒やけど、思ったより被告人が罪を認めるし、自分でしたこと説明するから不思議やった。やったのは前提として、肝心なのはどれくらいの罪なのかって部分なのかなと思った。

裁判官の人が被告人に対して毎回黙秘権に関して話していたので、黙秘権の重要さが伝わった。裁判の最後に、関係者の人たちで次の裁判の日にちや時間を決めているのが、とても印象的だった。検察官の人はたくさんの事件が入ってるようで、全く日程が合っていなかったのが、とても面白かった。

裁判が始まる時と終わるときで全員が起立する時は知らなくて驚いた。

いつか裁判員制度で今度は裁判に直接関わるかもしれないので、今回の経験が教養になってとても有意義な時間でした。

裁判は最初から最後までちゃんと見ないといけなかったり、途中退室したらいけないとおもっていたけど、全然途中退室とか途中で入ったりしてもいいことに驚きました。

最初は 1 時間半で結構見れると思ってたけど、色んな見たい事件があって、短く感じたのでもっと見たかったと思いました。

技能実習生の不法在留の裁判はとても考えさせられました。その技能実習生は多額の借金をして日本に働きに来ていて、残業があるって言われていたけれど無かったのでその分のお金が貰えなくて元の場所から逃げ出したということでした。親思いのいい人みたいに感じるし、技能実習生の言っていることが本当だったら、元の条件と違う雇い方をした方にも責任があるのではとも思うので、やっぱり私的には強制送還はあまり納得できないかなと思いました。

日本は少子高齢化で労働者不足なのに、技能実習生への支援や対応が良くなかったりするので、それらへの早急な改善が必要だと思いました。人道的な面から見た法律の意味や日本の制度、技能実習生の実態について新たに考えることができたので良かったです。関連で難民問題についても調べたいと思いました。

以前から裁判に興味があり、興味を持ったきっかけが裁判傍聴で書かれた本だったので今回参加できてとても嬉しかった。

裁判官がどのように話を進め、検察官・弁護人がどのような発言をするかを知れたり、通訳の方を交えた裁判もあることも知り、新鮮な気持ちで見ることができた。また、被告人に心情や願望をよく聞いていたのが印象的だった。

すごい内容もあるなかで無料で傍聴できるのはすごいと思ったし、このフィールドワークがなければ、行きたくても行きにくかったのでとてもいい経験になった。

裁判員裁判は朝の 10 時から夕方 5 時までやっていてすごい長い時間かかるんだなと思った。検察官や弁護士、裁判官たちの仕事の大変さもよく分かった。

罪を犯すことは悪いことだけれど、被告人が罪を犯した背景などを聞くと共感できるところもあったり裁判はすごく考えさせられるものだった。

初めて裁判を直接見て、裁判官・検察官・弁護人が居て成り立っていることをすごく感じ、読み上げる項目も多く 1 つの裁判ですごく細かい作業で成立していてすごいと思いました。

まず、想像以上に裁判の傍聴が気軽にできることに驚いた。法廷に入るとすごく緊張感が伝わってきて、身が引き締まる感じがした。

はじめての経験で知らないことだらけで学ぶことが沢山でした。上がる地名が全て知っている地名で、自分の身近なところで事件が起こっているんだなと改めて感じました。被告人の見た目が穏やかな人が多くて、外見だけで判断できないなと思いました。

最初は傷害事件で、思ったよりもすごい内容で、漫画でよく見る展開がまさに現実で起きていて、正直驚きました。本当にこんなことがあるんだなって思ったし、自分はこうならないように生きていこうと思ってしまいました。

はじめて裁判傍聴して、目の前に被告人がいる状況が思ったより怖かったし、裁判が終わって被告人が帰るとき手錠をかけられ、逃げないように体を縄で縛られて帰って行ってそれが 1 番怖かったです。

絶対に人生で 1 回は見た方が
良いと思った。

